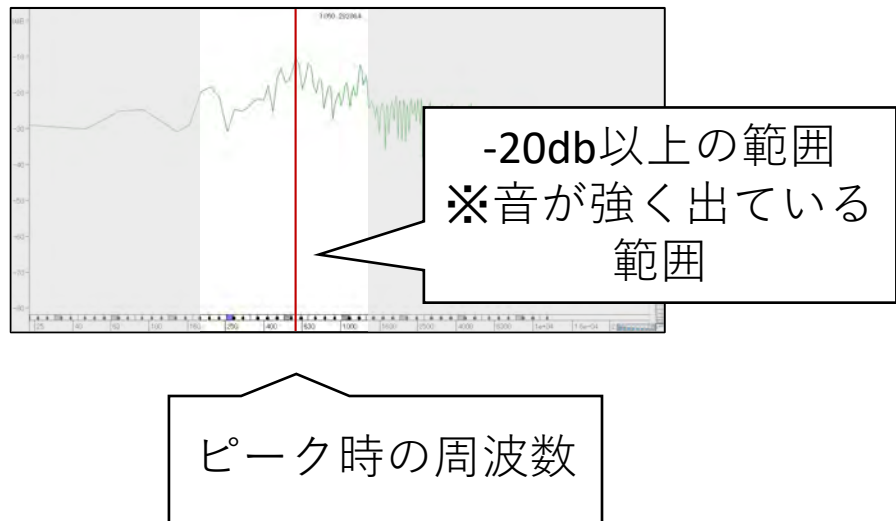
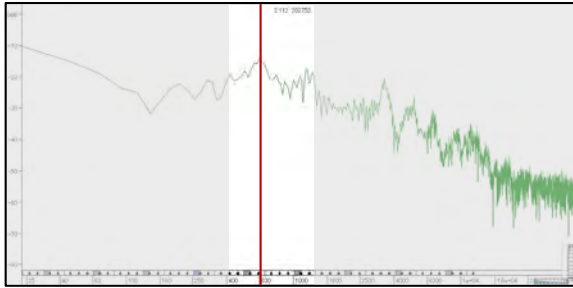


検証結果の見方について

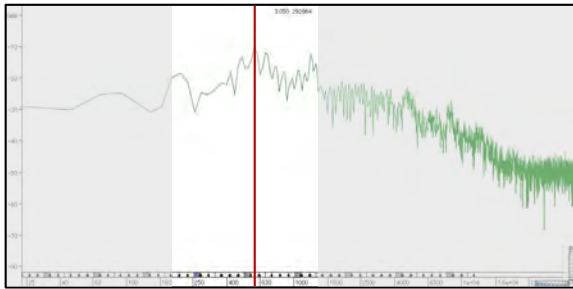


- ・ 同じ音声ファイル（ビットレート4608kHz）をそれぞれのスピーカーで再生しています
- ・ スピーカーの音量を50%に設定し、15cm離れた状態でハイレゾレコーダーで録音しました
- ・ 音声出力設定 (サラウンドなど)は標準設定のまま
- ・ 録音状況や録音タイミングが異なるため、微妙な差異が生じる場合があります
- ・ 周波数はすべて同じタイミングで合わせていますが、ミリ秒単位のズレにより波形が変化している可能性があります

男性のみの音声

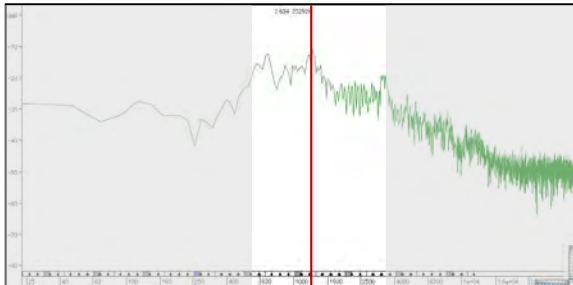


オリジナル音声



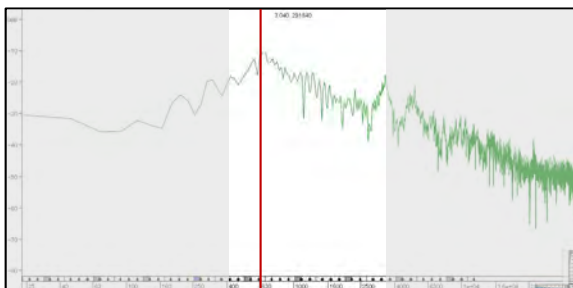
Surface Laptop 2

低音域がやや強調されたものの、元音声の再現性は高い。ほかの機種に比べて1000Hz以上のノイズが少ない



Let's Note LV

人の声 (500~1000Hz)が強調されているように見える。低音が弱く、やや高音域寄り。高音域のノイズが多い



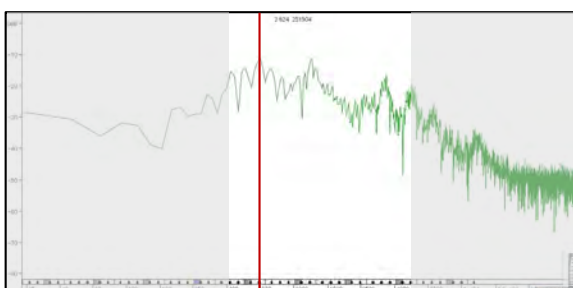
Latitude 7390

1000Hz前後を強調している印象。高音域のノイズがやや多め



ThinkPad X1 Carbon

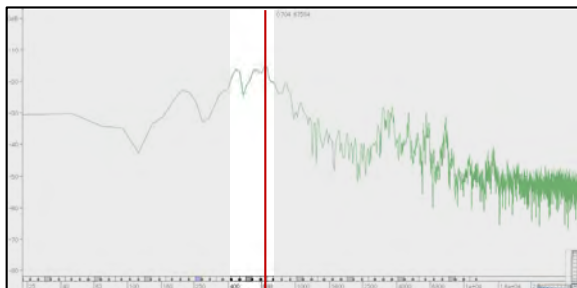
音の再現性は比較的高いものの、中音域以降は全体的ノイズが多い



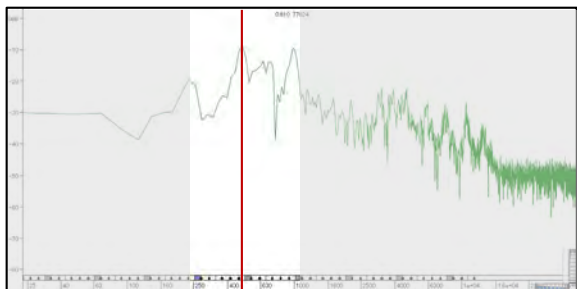
EliteBook 830 G5

人の声 (500~1000Hz)がよく聞こえるようにチューニングされているように見える。高音域のノイズが多い

男女混声の音声

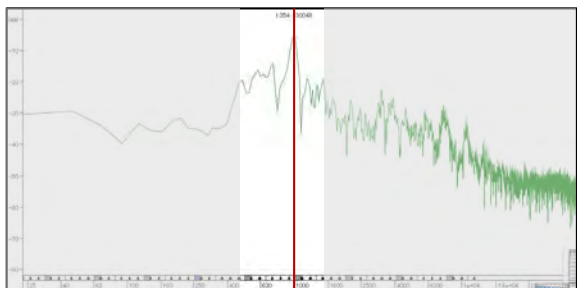


オリジナル音声



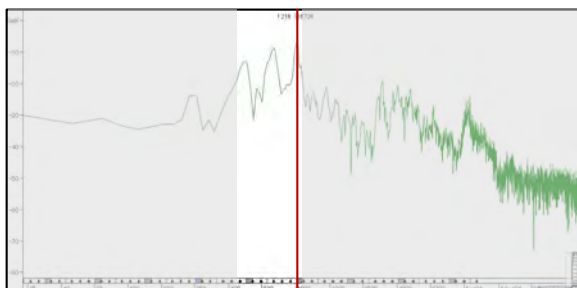
Surface Laptop 2

低音域がしっかり出ているがやや強調気味



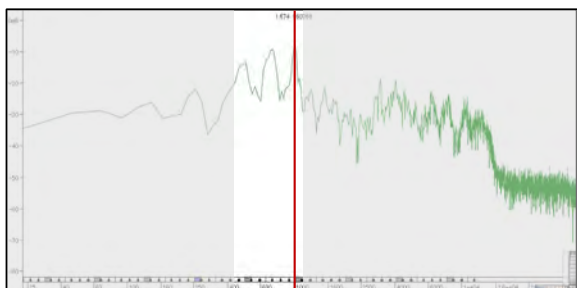
Let's Note LV

人の声が含まれない低音域がカットされている。ピークはやや高音寄り



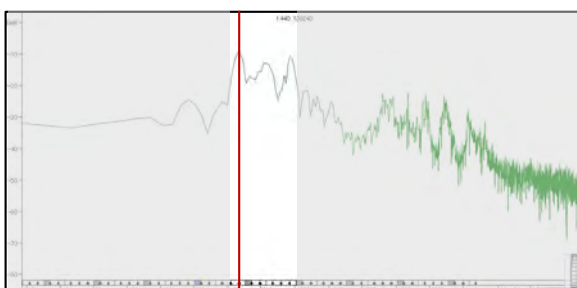
Latitude 7390

声の部分を強調して聞き取りやすくしているように見える。高音域のノイズがやや多い



ThinkPad X1 Carbon

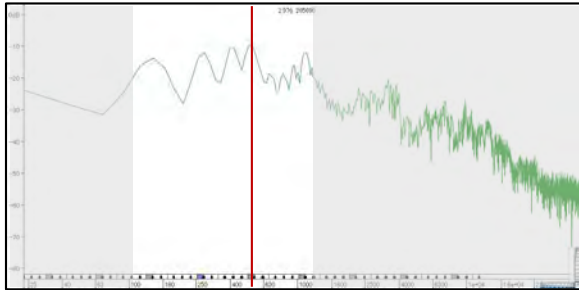
人の声寄りのチューニング。1000Hz以上のノイズが大きい



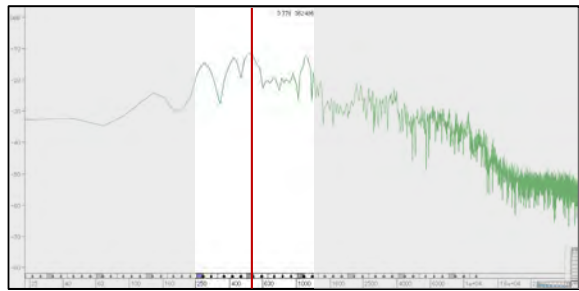
EliteBook 830 G5

人の声に対する強調の度合いが大きい。

環境音 (BGMとノイズ)を含む音声 (男性音声)

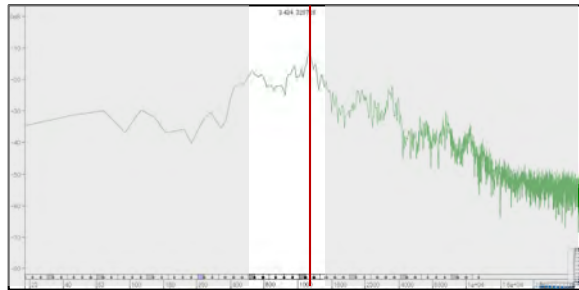


オリジナル音声



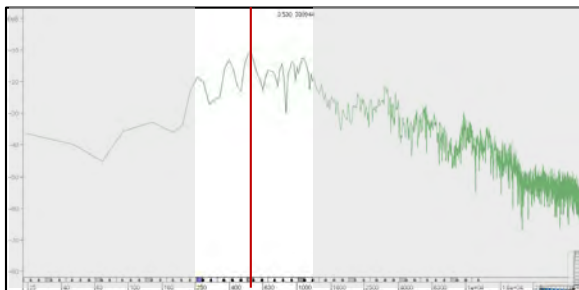
Surface Laptop 2

低音域が若干抑えられているものの、中音域以降の再現性は高い



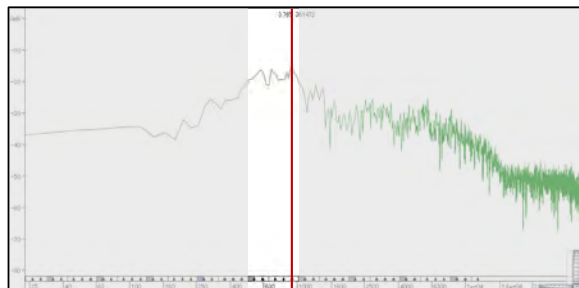
Let's Note LV

BGMの低音域が大きくカットされている。やや高音寄り



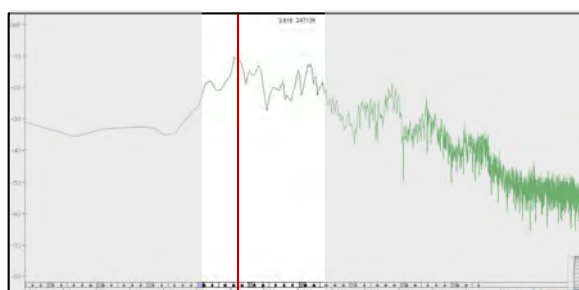
Latitude 7390

低音部を減らし、声の部分を強調して聞き取りやすくしている



ThinkPad X1 Carbon

人の声寄りのチューニング。高音域のノイズが多い



EliteBook 830 G5

中音域以降の再現性は高めだが、低音域が大きくカットされている

総評

Surface Laptop 2

低音域から高音域にかけての再現性が高い。人の声だけでなく、音楽や動画などを十分楽しめるチューニング。ノイズは比較的少ない

Let's Note LV

スピーカーの出力が弱く、全体的に高音寄りで音が軽い。低音部がかなり抑えられているのは、振動などのノイズを除去することで人の声を聞き取りやすくするためだと思われる

Latitude 7390

1000Hzあたりをピークに、その前後に含まれる人の声を強調している。高音域のノイズが多い

ThinkPad X1 Carbon

低音域を抑えることで人の声をターゲットとしたチューニング。全体的のノイズが多い

EliteBook 830 G5

人の声が含まれる中音域をターゲットとしたチューニング。高音域のノイズが多い